



ARIB STD-B39

補助データパケット形式で伝送される 放送局間制御信号の構造

STRUCTURE OF INTER-STATIONARY CONTROL DATA
CONVEYED BY ANCILLARY DATA PACKETS

標 準 規 格

ARIB STANDARD

ARIB STD-B39 1.4版

平成14年	7月25日	策	定
平成15年	3月26日	1.	1 改定
平成24年	7月 3日	1.	2 改定
平成29年	7月27日	1.	3 改定
平成30年	1月22日	1.	4 改定

一般社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses

まえがき

一般社団法人電波産業会は、無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な要件を「標準規格」として策定している。

「標準規格」は、周波数の有効利用及び他の利用者との混信の回避を図る目的から定められる国の技術基準と、併せて無線設備、放送設備の適性品質、互換性の確保等、無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者の利便を図る目的から策定される民間の任意基準を取りまとめて策定される民間の規格である。

本標準規格は、補助データパケット形式で伝送される放送局間制御信号の構造について策定されたもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者等の利害関係者の参加を得た当会の規格会議の総意により策定されたものである。

本標準規格が、無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者等に積極的に活用されることを希望する。

目 次

まえがき

第 1 章 一般事項	1
1.1 目的	1
1.2 適用範囲	1
1.3 参照文書	1
1.3.1 準拠文書	1
1.3.2 関連文書	1
1.4 用語	3
1.4.1 用語の定義	3
1.4.2 略語	4
第 2 章 放送局間制御信号パケット	5
2.1 放送局間制御信号パケットの構造	5
2.2 ユーザデータワードの構成	5
2.2.1 放送局間制御信号ヘッダワード	6
2.2.1.1 誤り訂正識別子	6
2.2.1.2 CI(Continuity Index) 連続性指標	7
2.2.2 放送局間制御信号データワード	7
2.2.2.1 放送局間制御データの構成	8
2.2.3 誤り訂正パリティワード（オプション）	16
解 説	19
1 適用範囲について	19
2 放送局間制御信号ヘッダワード	19
2.1 連続性指標	19
2.2 フレームスキップ・フレームリピート	19
3 放送局間制御データ	19
3.1 発局コードについて	19
3.2 発局時刻について	20
3.3 映像モードについて	20
3.4 音声モードについて	21
3.5 音声モードの拡張について	21
3.6 映像モードカウントダウン、音声モードカウントダウンについて	21
3.7 トリガ信号について	22

3.8	トリガ用カウンタについて	22
3.9	トリガ用カウントダウンについて	22
3.10	ステータス信号について	23
3.11	尺長情報（継続時間）について	23
4	放送局間制御信号に関する参考事項.....	23
4.1	放送局間制御データの汎用化.....	23
4.2	放送局間制御信号パケットの誤り	24
4.2.1	伝送信号誤りの種類.....	24
4.2.2	放送局間制御信号パケットの誤り訂正	25

改定履歴